団体名: 一色町商工会

本 华 友	中华柯田(北見 口仏)	中华45年	主たる	**************************************												事業評価											
事業名	事業概要(背景·目的)	事業実績	対象者	目 標①												ABCI	D評価				今後の展開・改善		備考				
巡回·窓口相談指 導事業	経営指導員等の商工会職員が 一般的に経営基盤の弱い小規 検事業者を中心に事業所へ訪 問し、金融相談・税務相談・労 務相談等の経営全般に係る 様々な相談への指導をすること により、企業の経営改善が図ら	 巡回指導相談実企業数 193件(13件)相談延件数 504件(17件) 窓口指導相談実企業数 170件(13件)相談延件数 383件(16件) 創業指導 		指標	巡回窓		享延件数 %)	指標	課題角		案件数 %)	個々の事業所を巡回することにより、その事業所ごとの 課題等に個別に対応することができ、小規模事業者の 経営改善につながった。	総合		事実施	自己評価 A	調本事業	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	小規模事業者により細かな巡回窓口 指導ができるように 指導内容の質を高 めていきたい。					
	れ、健全な企業が育成される。 このほか、創業も対象とした経 営全般に係る相談窓口の設置 によって、経営改善に資する指 導を行う。	相談実企業数 2件(2件) 相談延件数 4件(4件) ()內の数字は非会員 ・課題解決提案数 30件 ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	目標数値	600	実績数値	891	目標数値	20	実績数値	30	7 1	合評価	A	乗 旭 評 側 価 の	目標達成度	金 結 果 の	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法② 現行どおり		0				
		記帳指導職員 記帳継続事業者数 45件(指 導延回数635回)指導日数227		指標	記帳継続	売指導3	事業者数	指標				小規模事業者に、税制面 の改正等が理解されるよう 努めた。記帳・税務面のサ				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	正しい記帳、税務 知識を習得してもら うために今まで以上					
記帳継続指導事業	うことによって、適正な税務申 告や経理の自計化がなされる ようになるほか、計数管理を身 に付けることによって経営力の	日 記帳指導員 記帳継続事業者数 30件(指	小規模事業 者:記帳継続	1日1宗	(達成度	100.0	%)	担保	(達成度 %)			ポートを商工会が行うことに よって、小規模事業者は正 しい税務知識を習得し経営 分析力の向上がみられた。		A 3	事実	A	調 事業者	A		現行どおり		にきめ細かな指導 を実施していく。新 たな記帳継続者の 獲得に努めるととも	0				
	向上にも結び付ける。	導延回数373回)指導日数215 日	事業者	目標数値	75	実績数値	75	目標数値		実績数値		万切707円上か - から 4 07こ。	価		音側 画の	目標達成度	和へ	必要性		実施方法①	実施方法②	に、記帳継続者の 機械化への移行を 促していく。					
	多様化する経営環境に対応す	集団講習会 4回/年 47名		-								専門分野、業種別の問題な				A		A		現行どおり		アンケート等により					
講習会等事業	るため、小規模事業者にとって 必要な金融・税務・経理・労働・ 情報化等の知識を習得させる ほか、時事的な問題を周知する ことにより。事業者の資質の向 上と円滑な事業運営が図られ る。	(内、経営革新講習会 1回3 名) 個別講習会 ・青色記帳指導会 7回/年		指標	小規模事業者参加者数			指標				どテーマを絞り開催し、その 事柄に問題意識のある事 業者をまとまった単位で指 導ができた。また個別講習				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	事業者のニーズを 的確に把握し、経 営改善に役立つよ う、より効果的な講					
		118名 ・税と経理の定例相談日 5回/ 年 21名 ・税務個別相談会 4回/7名	小規模事業者						(達成度		%)	会では、青色記帳指導会を開催し小規模事業者の正しい記帳、税務申告に貢献し	総合	. 3	事実	В	調査	A		下げる		演講習会を実施していく。また、個人 青色申告者には個	0				
		· 労働保険年度更新説明会3回 / 44名		目標		実績		目標		実績		/=-	評価		評側	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	別講習会のニーズ も高いため継続的 に実施していく。高 齢化や廃業による					
				数値	200	数値	237	数値		数値						A		A		現行どおり		参加者数の減少が 見込まれるため、来 年度の目標を下げ る。					
	商工業者・小規模事業者数とも 減少傾向にあり、人材や資金・ 開催	・資質向上セミナー(青年部) 商工会青年部を中心に年1回 開催 10月23日 参加人員11名		指標	セミナ	十一受請	構者数	指標	セミナー	-参加者	当 満足度	地区内の商工業者の発展 や、地域の活性化には若 者の力と女性の力は必要 不可欠である。そこで青年				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	セミナーについて は、集団的な指導 となるため、今後も 多くの方が興味をも					
若手後継者等育成	ている。 減少傾向の歯止めには、地域 の若手経営者や経営に携わる	・資質向上セミナー(女性部) 商工会女性部を中心に全2回 コースを1回開催。 9月9日 参加人員10名	小規模事業者 青年部·女性	拍悰	(達成度	76.2	%)	指標	(達成度	114.9	%)	部員及び女性部員を中心 に、資質向上セミナーを開 催することにより、意識改革 や知識を習得することがで	総合	Λ 3	事実	A	事業者	A		下げる	現行どおり	ち参加してもらえる ようなテーマや内容 を考え実施してい く。高齢化や廃業					
事業	ナーの開催により知識を習得し 個々の向上心を高め、自らの 事業の持続的発展につなげる ことにより、地域全体の発展へ	10月8日 参加人員9名 •青年部全国大会 11月27日~28日 参加人数2 名	部部	目標	42	実績	32	目標	80%	実績	91.9%	きた。	評価		評側価の		目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	による参加者数の 減少が見込まれる ため、来年度の目 標を下げる。				
		資質向上セミナー参加者への 満足度調査による満足度割合 91.9%		数値	12	数値 32		数値	数值		31.3%					В		A		現行どおり	現行どおり						
ト店で地源	商工会が主催、共催するイベントに地域商工業者を中心に出店を募り、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、	日 来場者数約3000人)出店		指標	祭典	祭典事業出店者数		指標				主催や共催によりイベントを 開催、それに出店した各個 店や業界団体、地域資源 に携わる事業者は消費者				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	地区内商工事業者 や地域資源に携わ る業者が地域内外 へPRできる機会と					
	地域産業(地域資源、観光資源)のPRの機会とするとともに、 地域の総合的な振興を図る。		小規模事業者		(達成度	115.0	%)		(達成度		%)	に対して効果的なPRができ、地域商工業の発展に寄 与した。	総合評	Λ 3	事実権評側	A	事業者への	A		現行どおり		して有効なため来 年度以降も効果的 に実施していく。	0				
				目標数値	標 20 実		23	目標数値		実績数値			価		干側	目標達成度		必要性		実施方法①	実施方法②						
				外胆		数値		双胆		外胆						A		A		現行どおり							

団体名: 一色町商工会

** ** A	本条框架(北層 口外)	市 华中体	主たる									事	業言	平価									
事業名	事業概要(背景·目的)	事業実績	対象者	目 標①					目標	(2)		得られた効果				ABCI	O評価				今後の展開・改善	点等	備考
地城振興事業	地域の発展や課題解決のため の協議を行う地域懇談会に参 加して、地域の現状を把握した 上で地域活性化に向けた各種 事業に取り組み、地域の発展 に寄与する。また、地域振興に は、創業者の増加が不可欠な	・西尾市を枠組みとした地域懇談会、西三河地域を中心とした 地域懇談会、地域ごとの問題 について協議する検討会等に 合計21回の参加 ・西尾市、西尾信用金庫、西尾 商工会議所、西尾みなみ商工	1 T2 T45-40-770 +8-	地域懇談会等参加回数 指標 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度	(達成度 %)		地域の課題等を協議する 地域懇談会へ参加すること により情報交換を行い、現 在の広域経済状況や地域 活性化に係る取り組みなど を把握することができた。創 業支援も3者連携により実	総合	1	事実施	自己評価 A	事業 *	満足度	補足	目標①		各会や協議会に参加することを がまとなると をはるため、 をはました。 とは、 をはました。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	÷	
	ことから創業者支援への取組も 積極的に行う。	会及び当会の5者連携による創業者支援事業 創業セミナー1回、会議6回 ・創業キホン塾2回	小規模事業者	目標数値	30	実績数値		目標数値		実績 数値		施することで、効果的に実 施できた。	評価	- 1	平側	目標達成度 A	結果の	必要性		実施方法① 現行どおり	X1671140	から地域に役立つ 情報を効果的に発 信、活用していきた い。1つ会議が無く なるため、来年度の 目標を下げる。	:
区外への購買力流域の商業者は様々えている。そこで、」 活性化、集客力の がるようスタンプ券:	消費者の生活形態の変化や地 区外への購買力流出など、地 域の商業者は様々な課題を抱	・大売出し事業の支援(12 月:歳末セール) ・いっしきスタンプ会事業の支		指標	スタンフ	プ会参加	10企業数	指標				多くの課題を抱える地域商 業者を各方面から支援する ことにより、地区内商業者の				自己評価		満足度	補足	目標①		今後も地区内の商 業団体となるいっし きスタンプ会と協力	
	えている。そこで、地域商業の 活性化、集客力の向上につな がるようスタンプ券発行事務・街	援(いっしきスタンプ会員数26件) ・スタンプ券発行業務支援	小規模事業 者:商業者	11100	(達成度	96.3	%)	11100	(達成度	%)		団結力を高めるとともに地 域商業の発展を図った。	総合評	Λ 3	事実 業施 平側	В	調査 芸者	Α		下げる	活性(A) 実施方法② 新店も表 年度の る。 日標② 日標② 日標② ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	し、地区内商業の 活性化に協力して いく。高齢化、後継	
	路灯維持管理事業などの支援 を行う。	(いっしきスタンプ会商品券発 行業務 発行枚数398枚) ・街路灯維持管理事業(街路灯	日.阿来日	目標数値	27	実績数値	26	目標 実績 数値				価	- 15	番の	目標達成度	果の	必要性		実施方法①	大胆力は色	者不足で廃業する 商店もあるため、来 年度の目標を下げ	:	
		62本)		391,162		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				74,112						В		Α		現行どおり		る。	
		力・観光関連会議等への参加・えびせんべい業界等の県内 ・大びせんべい業界等の県内 ・ケイベント、物産展出店支援 (年6回参加) ・えびせんべい業界のPR活動 を支援		指標	イベント・	物産展	多加回数	指標				小規模事業者個人では対応しきれない各事業を、組合活動を通じて実施でき、 小規模事業者の経営改善 い地場産業指側の底上ば				自己評価		満足度	補足	目標①		当地区の地場産業 であるえびせんべ い業界の振興のた め、支援を継続して いく。イベント等へ	
地域産業活性化事			小規模事業	11100	(達成度	(達成度 120.0 %)		11100	(達成度	%)		と地場産業振興の底上げ に大きく寄与できた。また、 物産展への参加を支援し、 地域内外へ効果的にPRで	総合		事実業施	A	事業	Α		現行どおり		は積極的に参加し 「三河一色えびせ んべい」の認知度を	
業	展出展への支援を行い、外部 へのPRを推し進めることにより 企業の発展及び地域産業の活 性化を図る。	・三河一色えびせんべい組合 活動支援(組合員33事業所)	者:えびせん べい業者等	目標		実績	6	目標		 毛續		きた。	評価	- 15	平側面の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	上げていく。	
				数値		6	数值	***************************************	收值						A		А		現行どおり				
	中小・小規模事業者へ関連施 策の制度概要を中心とした広 報誌を発行し、幅広い周知を図 る。 地区内事業者のホームページ	・商工会報「おしらせ」 毎月1 回 年12回発行		指標	会報発行回数		指標	536			巡回や窓口指導だけでは、 地区内事業者に時節柄に あった施策を届けることは 難しいため会報誌を毎月1 度発行し、必要とする情報				自己評価		満足度	補足	目標①		当会の広報誌は、 商工会事業等の報 告が中心ではなく、 あくまでも小規模事 業者にとって有益		
調査·広報事業	へのリンクを行い、地区内事業 者の対外的なPRを行う。 中小・小規模事業者関連の施 策に反映させるため、必要に応		小規模事業者		(達成度	100.0	%)	III IAK	(達成度 %)			をタイムリーに提供し、商工 業者の発展に役立てること ができた。	総合	Λ 3	事実	A	調査結 事業者	A		現行どおり		な情報の発信をメインとしている。今後 も、小規模施策等 を中心とした広報作	
	じアンケート調査を行い、地区 内の動向を把握する。		7 が次子未甘	目標	10	実績	10	目標	g	実績			評価		平側 画の 目	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	りに努めていく。	
				数値			12	数値		数値						A		A		現行どおり			

団体名: 一色町商工会

事業名	本条框型(水量 口代)	市 华 中 体	主たる									事	業	評 価									\neg
争采石	事業概要(背景·目的)	事業実績	対象者		目 標①				目	標②		得られた効果				ABCI	D評価			4	今後の展開・改善	 摩点等	備考
青年部·女性部事 業	商工業の後継者である青年、 若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、必要となる知識 を習得するための事業や部員 間での交流事業・社会福祉事	・西三河支部青年部・女性部事業への参加10回 ・青年部員34名、女性部員40名	小規模事業者	指標	青年部女性 指標 (達成度 93.7			指標	(達成度	:	%)	愛知県商工会連合会や西 三河支部商工会で開催される講習会等への参加により、若手後継者及び商工業 に携わる女性としての資質	総合	,	事実	自己評価 B	調査事業者	満足度	補足	目標①	目標②	若手後継者及び商工業に携わる女性 工業に携わる女性 の資質を育てるために、必要となる事業を積極的に実施 していく。来年度以	0
	業を通じて地域との関わりを積極的に持つことにより、地域社会の発展に寄与する。		青年部·女性 部	目標 数値	79	実績数値	74	目標数値		実績数値		を育て、地域商工業の発展 が図れた。また、社会奉仕 事業や地域イベントなどへ の参加により地域社会の発 展や活性化に寄与できた。	評価		評側価の	目標達成度 B	結への	必要性		実施方法① 現行どおり	実施方法②		
福利厚生事業	営・雇用の持続的な安定を図る ため、各種共済制度の普及や 従業員の健康診断事業を実施	・中小企業共済(388名)、愛知 火災共済(30名)、ビジネス保 険(32名)の加入推進 加入者 450名		指標	各共	上済加ノ	人者数	指標				商工業者の経営に役立つ 共済の加入促進を行い、企 業の安定的な発展を図っ た。また、健康診断事業				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	次年度も各共済の 普及や積極的な加 入促進に努める。 健康診断事業は、	
	し、企業の健全な育成・従業員 の福利厚生に資する。	・従業員定期健康診断事業 8月21日~9月4日のうち10日間 検診車を巡回させ実施(92事業 所)	小規模事業者		(達成度	₹ 102.5	%)		(達成度		%)	は、従業員の安定的な雇用 と企業の健全な育成を目指 すために実施し、多くの事 業者の参加を得ることがで	総合評		事実	A	事 業者	A		上げる		ニーズも高く今後も 継続して いく。 引き続き委託事業 主の獲得に努め る。事務程は合に実に 存をすため、維 続して事業を実施	
				目標数値	439	実績数値	450	目標数値		実績数値		きた。	価	1 1	評側	目標達成度	果の	必要性		実施方法①	実施方法②		
	事業主等の委託を受けて、労	・労働保険事務組合加入者の		纵區		外佢		纵區		30.115		人的、時間的に制限の多い				A		A		現行どおり		コンケン・カン・	
	働保険料の申告納付その他労 働保険に関する各種の届出等 の事務手続を行うことにより、中	労働保険年度更新事務(事務 組合員67件)		指標	労働保険事務組合員数標			指標			中小企業者の労働保険事 務を受託し、代行することに より中小企業者の事務処理	.			自己評価	THE T	満足度	補足	目標①	目標②	主の獲得に努め る。事務組合に対		
労働保険事業	小事業主の事務処理の負担を 軽減するほか、労働保険の適 用促進及び労働保険料の適正	労働保険料納付事務 ・労働保険事務組合加入者の	小規模事業 者:労働保険 事務組合加入		(達成度	£ 100.0	%) [(達成度		%)	より中小企業者の事務処理 の負担を軽減するとともに、 労働保険についての理解 を深めて頂き、その適正な	総合評		事実 業施 評側	A	調査結	A		現行どおり		存在するため、継 続して事業を実施	
	な徴収を図る。	力側体限合性士統さ争伤	事業所	目標 数値	67	実績 数値	67	目標 数値		実績 数値		運用を図ることができた。	価	,	価の	目標達成度 A	果の	必要性 A		実施方法① 現行どおり	実施方法②		
	青色申告会・法人会等の税務 支援団体・地域貢献団体の活	kの活 よる青色記帳指導会の実施(7			青色申告	会法人	\ 会会員数	\perp				青色申告会の活動により事 業者は正しい帳簿記録に				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	青色記帳指導会は 小規模事業者に	
青色申告会·法人	動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいて	回/年) ・一色青色申告会、西尾法人会一色支部の事務支援、講習会、研修会事業の支援	小規模事業 者:青色申告	指標	(達成度	₹ 98.2	%)	指標	(達成度		%)	基づいた決算及び申告を 行い、効果は大きかった。 西尾税のたよりの全世帯回 覧により、税に関する理解	総合		事実業施	В	事業	A		下げる		とって必要事業で ある。研修会は事 業者にとって資質 の向上に必要であ	
会事業	は、商工業の活性化に資する。	・西尾税務連絡協議会に係る 事業 ・一色青色申告会147件、西原	会·法人会加 入者	目標	332	実績	326	目標		実績		を深められ地域に貢献できた。	評価	A	深側 価の	目標達成度	若への	必要性		実施方法①	実施方法②	り来年度も実施した い。青色申告会は 廃業による退会者	0
		法人会一色支部179件		数値	数(数値	020	数値		数値						В		A		現行どおり		が多いため来年度 は目標を下げる。	
	各種業界団体等、産業振興団 体の活動をサポートして、事業 運営に協力することにより、国・ 地方公共団体、地域社会への	・西尾労働基準協会一色分会の事業支援(会員数92名)・一色鉄工会の事業支援(会員数16名)		指標	左記	団体構	成員数	指標				各種業界団体、協同組合、 地域貢献団体の事務等を 支援することにより、同業者 及び異業種間での意見交				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	商工会事業を実施 していくにあたり、 各種商工団体等と の連携は重要であ	
産業団体等指導事	電力公共団体、地域社会への 貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に 資する。	一色ガス協同組合の事業支	小規模事業 者:左記団体		(達成度	₹ 97.2	%)		(達成度		%)	及い共業権間での意見交流が活発に行われ、地域社会の貢献や発展の一助となった。	合		事実	В	調 事業者	A		下げる		の建務は量安であることから今後も産業団体の支援を積 極的に継続してい	0
秦	1	の事業支援(会員数42名) ・愛知建連西尾支部の事業支援(会員数193名)	加入者		実施方法①	実施方法②	く。愛知建連の会 員数減少のため、 来年度の目標値を																
				数値		数値		数値		数値						В		Α		現行どおり		若干下げる。	

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄にOを付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。